

令和2年度 【養父市】認知症地域支援推進員活動報告

【養父市】の認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員 : 2名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - ・認知症当事者、家族等に対する適切な支援の検討及び関係機関との連携、調整等の支援
 - ・認知症当事者、家族等を支援する社会資源の情報の収集及び提供
 - ・認知症当事者及び家族等への支援を行う関係者に対する研修会、交流会等の実施
 - ・認知症に関する正しい知識、理解の普及啓発
(CATVを利用した情報発信の実施)
 - ・認知症ケアネットの活用推進
 - 認知症支援ネットワーク会議の運営
 - ・地域ケア推進会議への提言

報告者氏名：原 照美

【養父市】認知症施策全体図

I 知識の普及啓発の推進と活動支援

- 認知症サポーター養成講座（市民、小中学校、看護学校等）
- 出前講座（市民）
- 生活支援サポーターの養成、修了生へのフォロー研修
- 映画の上映（認知症カフェ連絡会主催事業の後援）
- CATVを利用した啓発番組の作成

II 認知症の容態に応じた適時・適切な医療、介護等の提供

- 認知症ケアネット（支援者版、当事者版）の活用
- 認知症初期集中支援事業
（チーム員会議、認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催）
- 医師会とケアマネジャーとの懇談会、ワーキング会議
- 主任ケアマネジャー事例検討会
- 認知症支援ネットワーク会議




【養父市】認知症施策全体図

Ⅲ 認知症当事者及び家族等の支援

- ・ 介護者の集い 認知症カフェの周知と活動支援
- ・ 認知症デイサービス支援事業
- ・ 生活機能向上サービス事業所支援事業
- ・ 認知症高齢者等の見守り・SOSネットワーク及び個人賠償責任保険事業
- ・ 養父市タクシー等利用料助成事業、高齢者等優待乗車証交付事業
- ・ 高齢者運転免許証自主返納支援補助制度

Ⅳ 地域づくりの推進

- ・ 地域の資源の「見える化」を行い、社会参加を推進する
 - ・ 地域ケア推進会議、自立支援型地域ケア個別会議
 - ・ 高齢者及び障害者虐待防止ネットワーク会議
 - ・ 生活支援コーディネーター連絡会議
- 

【養父市】 R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告 テーマ番号<9> コロナ禍に対応した取組や活動

【目的】

毎年、ホールで「認知症フォーラム」を開催しているが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため実施できなくなった。新しい生活様式の中で認知症事業を実施していくため、ケーブルテレビを活用した市民向けの認知症啓発番組を作成した。

【番組内容】

- 認知症に早く気付くために
養父市の認知症施策（市職員）
認知症の早期発見のポイントと早期受診のメリット（医師）
薬剤師が関わる認知症ケア 在宅訪問と支援チーム（薬剤師）
ディスカッション「認知症に早く気づき、地域で安心して暮らすために」
高齢者相談センター 主任介護支援専門員
公立八鹿病院 認知症認定看護師
民生委員・児童委員協議会連合会 会長
認知症の人と家族の会兵庫県支部世話人
- 寸劇 「認知症の初期のサインを」知ろう



【工夫したことや効果】

- 市の施策や認知症に早く気づくメリット等わかりやすく伝えることができた
- 放送を年末年始の特別番組としても放送し、帰省した家族にも認知症のサイン気づいてもらえるよう工夫した
- 寸劇の出演者（介護予防サポーター）に、「わかりやすかった」等多くのコメントが寄せられた
- コロナ対策でサポーターの本来の活動が減ってきていた中での収録だったので、楽しく充実してできた
- ケーブルテレビが視聴できない方や、見逃した方への対応としてYouTubeにアップした



●啓発番組 「認知症に早く気づくために」

■司会 ちば内科・脳神経外科クリニック 院長 千葉 義幸

■番組内容

「養父市の認知症施策」

養父市役所 介護保険課 課長 日下部 光俊

「認知症の早期発見のポイントと早期診療のメリット」 脳神経外科牧田クリニック 院長 牧田 一広

「薬剤師が携わる認知症ケア 在宅訪問と支援チーム」

ニコニコ薬局 薬剤師 北山 純

[ディスカッション] 「認知症に早く気づき、地域で安心して暮らすために」

■参加者 高齢者相談センターようか 主任介護支援専門員 田路 智子

公立八鹿病院 認知症看護認定看護師

中村 薫

養父市民生委員児童委員協議会連合会 会長

岸本 計二

認知症の人と家族の会兵庫県支部 世話人

山崎 敬一



●寸劇 ～認知症の小さなサインに気づくのはあなたです～ 「認知症の初期のサインを知ろう」



認知症は早期発見、早期治療が大切です。

この寸劇では、普段の生活の中で気づきやすい認知症の小さなサインについて紹介します。

養父市地域包括支援センター ☎079-662-7603

最後に・・・（今後の取組みに対する認知症地域支援推進員としての思い）

新型コロナウイルスの感染拡大から1年がすぎ、新しい生活様式にもなじんできましたが、やはり認知機能の維持には、社会参加（人との交流）が大きいことを再確認しています。地域の見守りや蜜を避けながらの集いなどコロナ過でもできることを考えながら、認知症の人にも住みやすい地域づくりを行っていきたいと思います



認知症啓発番組が
ユーチューブでご覧いただけます！

YouTube(ユーチューブ)トップ画面で

養父市 認知症



と検索！



●啓発番組 「認知症に早く気づくために」

■司会 ちば内科・脳神経外科クリニック 院長 千葉 義幸

■番組内容

「養父市の認知症施策」

養父市役所 介護保険課 課長 日下部 光俊

「認知症の早期発見のポイントと早期診療のメリット」 脳神経外科牧田クリニック 院長 牧田 一広

「薬剤師が携わる認知症ケア 在宅訪問と支援チーム」 ニコニコ薬局 薬剤師 北山 純

【ディスカッション】「認知症に早く気づき、地域で安心して暮らすために」

■参加者 高齢者相談センターようか 主任介護支援専門員 田路 智子

公立八鹿病院 認知症看護認定看護師 中村 薫

養父市民生委員児童委員協議会連合会 会長 岸本 計二

認知症の人と家族の会兵庫県支部 世話人 山崎 敬一



●寸劇 ～認知症の小さなサインに気づくのはあなたです～
「認知症の初期のサインを知ろう」



認知症は早期発見、早期治療が大切です。

この寸劇では、普段の生活の中で気づきやすい認知症の小さなサインについて紹介します。

養父市地域包括支援センター ☎079-662-7603